

令和5年度第2回優良図書推奨一覧表

番号	対象	図書名・著者名	出版社	発行年月日	規格 頁数 価格	推薦理由(推薦基準)
1	幼児 ～ 小学生 (中学年)	赤い鉄橋を渡っていくよ 岡田 光司／写真 岡田 康子／文	文研出版	2022年10月30日	21.4cm × 26.4cm 40頁 1,650円	1924年に千曲川に架けられた赤い鉄橋が2019年台風、大雨により被災してしまう。赤い鉄橋が大好きな主人公「ぼく」の熱い思いと、鉄橋を応援する多くの人の思いと努力で復旧していく様子が描かれている。希望を感じる多くの写真も温かい。(3)(6)(9)
2	幼児 ～ 小学生 (中学年)	きみのうたをきかせて ケアリー・フェイガン／文 ディーナ・シーファリング／絵 橋本 あゆみ／訳	科学同人	2022年9月15日	31.1cm × 21.6cm 40頁 2,200円	森の中でウクレレを見つけたクマ。クマが歌いたい歌をネズミに披露する前に、他の動物たちが我先にと歌ったり演奏したりと大騒ぎになってしまいます。ようやく自分の番が来たクマが歌った歌は…。クマの心を理解し、温かく包み込むようなネズミの優しさが心に残るお話です。(1)(4)
3	幼児 ～ 小学生 (高学年)	かみなり 武田 康男／監修・写真 小杉 みのり／構成・文	岩崎書店	2022年7月31日	21.0cm × 20.5cm 34頁 1,430円	夏には入道雲をよく見かけますが、「かみなりは空高く成長した雷雲の中で生まれる電気なんだよ」とこの写真絵本で教えてくれます。さまざまな稲光の写真は美しい。地球温暖化でかみなりは増えているそうです。(2)(5)(7)
4	小学生 (低学年) ～ 小学生 (中学年)	それで、いい！ 磯 みゆき／作 はた こうしろう／絵	ポプラ社	2022年11月	22.0cm × 15.5cm 79頁 1,430円	きつねは絵を描くことが大好き。展覧会に出品する絵を描こうと意気込みますが、何を描けばいいか不安になり、どうとう絵が描けなくなります。人の目が気になるあまり、一歩が踏み出せないことはよくあります。この本は「それでいいんだよ」と、背中をそっと押してくれる1冊です。(1)(6)(8)(10)
5	小学生 (低学年) ～ 小学生 (高学年)	車のいろは空のいろ ゆめでもいい あまん きみこ／作 黒井 健／絵	ポプラ社	2022年11月	19.2cm × 15.5cm 123頁 1,430円	タクシー運転手の松井さんが不思議なお客さんに出会う7つのお話です。出会うのは、人間に化けたつむりの子たぬきや、夫を亡くした妻と赤ちゃん、愛犬と別れた男子など。どのエピソードも、松井さんの優しさが感じられ、心が温まります。(1)(2)(8)
6	小学生 (低学年) ～ 小学生 (中学年)	ふしぎなメリーゴーラウンド リーザ＝メアリー・ブルーム／作 はたさわ ゆうこ／訳 こやま こいこ／絵	徳間書店	2022年8月31日	21.5cm × 15.5cm 160頁 1,650円	移動遊園地にあるメリーゴーラウンドの動物たちには秘密があって、まるで生きているようです。ところが新しい持ち主が餌をあげなくなると…。六体の木彫りの動物が子どもたちの愛情で生きた動物へと変わっていく楽しい読み物です。(1)(2)(8)
7	小学生 (中学年) ～ 小学生 (高学年)	はっこう 小川 忠博／写真・文 横山 和成／監修	あすなる書房	2022年4月30日	29.0cm × 23.0cm 48頁 2,200円	微生物の働きで発酵がどのように行われているかを豊富な写真資料と的確な解説のもとに分かりやすく示されている。児童の科学的探求心を培う優れた科学絵本である。(5)(7)
8	小学生 (中学年) ～ 中学生	バンドウーラ "ジャングルの誇り"とよばれたゾウ ウィリアム・グレル／作 佐藤 見果夢／訳	評論社	2022年10月20日	30.5cm × 24.5cm 88頁 2,420円	ミャンマーの人と象との関わりについて、歴史をたどりながら知ることができる。象への畏敬の念を抱かせる。動物と植物、生命ある全ての物へ愛情をもって人間は行動してほしいと訴えかけている。(1)(2)(4)
9	小学生 (中学年) ～ 中学生	サバンナで野生動物を守る 沢田 俊子／文 太田 ゆか／写真協力	講談社	2022年7月4日	21.5cm × 15.5cm 110頁 1,540円	南アフリカ共和国でただ一人の女性サファリガイド、太田ゆかさんの仕事を通して、野生動物の保護活動や環境保全、住民の貧困問題にまで触れてあります。今はオンラインによる体験もでき、地球について身近なものとして考えることができます。(2)(4)(9)
10	小学生 (高学年) ～ 中学生	魔女だったかもしれないわたし エル・マクニコル／著 櫛田 理恵／訳	PHP研究所	2022年8月30日	19.3cm × 13.3cm 238頁 1,540円	かつて魔女裁判のため無実の女性たちが亡くなった村に住むアデイは自閉です。担任の先生や周りの生徒たちに酷い扱いを受けますが、「世の中にはいろんな違いを持った人が必要です」と、人と違うことを受け入れて前に進んでいきます。同じ自閉の姉や家族のサポートが嬉しい。(1)(4)(10)

番号	対象	図書名・著者名	出版社	発行年月日	規格 頁数 価格	推薦理由(推薦基準)
11	小学生 (高学年) ～ 中学生	中村哲物語 松島 恵利子／著	汐文社	2022年7月	19.5cm × 13.5cm 180頁 1,760円	2019年12月、アフガニスタンで何者かに命を奪われた中村哲先生の伝記です。ハンセン病医療、山岳無医地区での診療所づくり、井戸や用水路の建設など、どれも現地の人に寄り添い、相手を尊重しての仕事でした。平和や真の幸せを考えさせてくれます。(1)(4)(9)(10)
12	小学生 (低学年) ～ 小学生 (高学年)	化石の呼ぶ声がかきこえる 天才恐竜ハンター ウェンディ・スロ ポータ ヘレイン・ベッカー／作 サンドラ・デュメイ／絵 木村 由莉／訳・監修	くもん出版	2022年11月9日	24.5cm × 25.9cm 40頁 1,760円	ウェンディは、他の皆が気付かない素敵なものを見ることが得意な女の子。ある日、谷でサンゴの化石発見を機に、ウェンディは世界中を飛び回る化石ハンターとして活躍していきます。自分の好きを追求し続ける姿は、読む人に「好き」を貫き通す勇気を与えてくれます。(2)(4)(5)(10)
13	小学生 (高学年) ～ 中学生	海をわたる動物園 いちかわ けいこ／作 村田 夏佳／絵	アリス館	2022年5月31日	19.5cm × 13.5cm 128頁 1,540円	「戦争で空っぽになった動物園に再び動物を迎え入れる」ために、アフリカから日本に向かう船がありました。偶然乗り合わせた大学生(筆者の父)が二か月かけて62頭の動物を世話をしていました。平和の豊かさを受けます。(2)(7)(10)
14	小学生 (低学年) ～ 小学生 (高学年)	クジラの進化 水口 博也／文 小田 隆／絵 木村 隆之／監修	講談社	2022年8月30日	24.5cm × 26.0cm 40頁 2,090円	クジラが5000万年の年月を経て、どのように環境に対応して体を作り変えたのかを描いている。体の作りがどのように適応しているのかを見事な絵と解説とで説明している。幅広い学年層に於いて科学的探究心を培うものである。(5)(7)
15	小学生 (高学年) ～ 中学生	明日の国 パム・ムニョス・ライアン／作 中野 怜奈／訳	静山社	2022年11月8日	19.5cm × 13.5cm 275頁 1,760円	マックスの父さんとじいちゃんは、行き場のない“隠れ人”を逃してやる“守り人”の仕事をしていました。幼い時にいなくなった母さんを探すためにも、マックスは一人で小さな女の子を“明日の国”へ連れていくことになりました。11歳の少年の冒険と成長物語です。今の難民問題を思い起こさせる内容です。(4)(5)(9)
16	小学生 (高学年) ～ 高校生	手で見えるぼくの世界は 檜崎 茜／著	くもん出版	2023年11月13日	19.5cm × 13.0cm 274頁 1,540円	主人公と双葉、そして友人、先生、晴眼者との関わりを通して視覚支援のあり方深く考えていくきっかけとなる優れた本である。具体的にどういった支援が大切なのかを問い直すものとなる。(1)(4)(9)(10)
17	中学生 ～ 高校生	障害者ってだれのこと？ 「わからない」からはじめよう 荒井 裕樹／著	平凡社	2022年7月14日	19.0cm × 17.8cm 223頁 1,760円	障害や障害者に関する歴史をたどりながら、それらの価値観を耕すように書かれている。「わからない」ことに視点を置いて、多様な見方ができるよう促している。2人の会話形式で優しく語りかける口調で書かれているので読みやすい。障害や障害者、差別についてもう一度考え直すきっかけとなると感じる。(4)(5)(7)
18	中学生 ～ 高校生	「ヒロシマ消えたかぞく」のあしあと 指田 和／著	ポプラ社	2022年7月	19.5cm × 13.5cm 239頁 1,760円	「ヒロシマ消えたかぞく」は、原爆で消えてしまった家族の日常を描いた写真絵本です。本書は作者が残された写真や広島の人々への取材をしながら絵本を作り上げた経緯が記されています。柔らかな子ども心に刷り込まれていった戦争の怖さに気付かされます。(1)(9)(10)
19	中学生 ～ 高校生	パンに書かれた言葉 朽木 祥／著	小学館	2022年6月27日	19.0cm × 13.5cm 285頁 1,540円	広島出身の父とイタリア生まれの母を持つ光は、東日本大震災が起きた春休みにイタリアへ、夏休みには広島へ行きます。ナチスによる虐殺や原爆に命を奪われたのは、同じ13歳の自分の肉親たちでした。戦争の痛みを受け止め、希望へと踏み出す物語です。(1)(9)(10)
20	中学生 ～ 高校生	チャンス はてしない戦争をのがれて ユリ・シュルヴィッツ／作 原田 勝／訳	小学館	2022年10月3日	19.5cm × 13.8cm 352頁 1,760円	絵本作家のユリ・シュルヴィッツが4歳の時、第二次世界大戦が始まりました。ナチスの迫害から逃れ、ポーランドからソ連、東欧、パリ、イスラエルへと10年に及ぶ旅の記録が多くの絵と共に書かれています。絵を描いて空腹を紛らわし、絵が1番の友達でした。チャンスに救われた“行きて帰りし”物語です。(4)(5)

※推薦理由(推薦基準)の○は、優良図書推薦要領の推薦基準(1)～(10)を示す。